

今年度の黒大豆作況調査を開始しました！

当センターでは、府特産の黒大豆品種「新丹波黒」の生育や作柄状況について、生産現場等への情報提供を目的として作況調査を行っています。

令和2年度は例年どおり6月10日には種をしましたが、ほ場への移植は降雨を避けて6月18日に行いました。

今年の梅雨入りは平年比3日遅く、昨年より17日早い6月10日となりました。最高気温も高く、定期的な降雨もあり、初期生育は良好です。7月は梅雨盛期であるため、中耕作業や初期防除等を適期に行えるよう、ほ場の排水を徹底し、細心の注意を払いながら栽培管理を行います。

今後、生育調査のデータに気象長期予報や病虫害発生予察情報も加味して、生産者や関係機関に黒大豆の安定生産や被害回避につながる情報を発信します。



ほし^り播種の様子（6月10日）



中耕直後の様子（6月26日）